

関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について
病虫害発生予察注意報第1号を送付します。

平成17年度病虫害発生予察注意報第1号

平成17年8月8日
高知県病虫害防除所

病虫害名 ハスモンヨトウ

1. 対象作物 露地野菜、ダイズ、施設野菜、花き類、飼料作物など
2. 発生地域 県内全域
3. 発生時期 8月上旬以降
4. 発生程度 多
5. 注意報発令の根拠
 - 1) 県内のサトイモほ場での卵塊調査(8月1日～3日)では県東部中心に密度の高いほ場が見られ、全般的に発生の多かった昨年と同等の卵塊数となっている(表1)。また、各調査ほ場では中齢～老齢幼虫の寄生が見られている。
 - 2) 南国市廿枝のサトイモほ場におけるハスモンヨトウ産卵数調査(県農業技術センター昆虫担当調べ)でも7月下旬から急増している(図1)。
 - 3) フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は、県東部～中央部において6月以降多めで推移している(図2)。
 - 4) 向こう一ヶ月の気象予報では気温は平年並か高く、降水量、日照時間は平年並と予想されており、今後も密度の上昇が予想される。
6. 防除対策
 - 1) 老齢幼虫になると薬剤感受性が低下するので、若齢幼虫期に薬剤散布を行う。
 - 2) 1回の薬剤散布で効果が十分でない時は5～7日間隔で数回散布するが、同一薬剤の連用を避ける。
 - 3) 施設栽培ではハウスサイド、天窓に防虫ネット被覆を行うなど成虫の侵入防止に努める。

表1：各地区のハスモンヨトウ卵塊調査結果(サトイモ50株あたり、7月下旬～8月上旬)

調査地点	調査年	平成17年(2005年)		平成16年(2004年)		平成14年(2002年)		
		調査日	卵塊数	調査日	卵塊数	調査日	卵塊数	
東部	安芸市	川北	8/3	16	8/5	5	7/23	7
	安芸市	井ノ口	8/3	2	8/5	10		
	*安芸市	黒鳥	8/3	12	8/5	7		
中部	**越知町	今成	8/2	5	8/2	7	7/22	5
	いの町	枝川	8/1	1	8/2	2	7/22	1
	須崎市	上分	8/2	5	8/3	1	7/25	1
西部	津野町	三間川	8/2	3	8/3	0	7/25	0
	中土佐町	久礼	8/2	1	8/3	1	7/25	0
	中土佐町	上ノ加江	8/2	2	8/3	4	7/25	1
	津野町	船戸	8/2	1	8/3	1	7/25	0
西部	四万十市	竹島	8/2	2	8/2	3	7/23	2
	四万十市	古津賀	8/2	2	8/2	5	7/23	5
	四万十市	間崎	8/2	1				
平均			8/2	4.0	8/3	3.9	7/23	2.2

※ 平成14年は芸西村和食、16年は田野町

※※ 平成14年は土佐市新居

図1: サトイモにおけるハスモンヨトウ卵塊数(南国市、農業技術センター内)

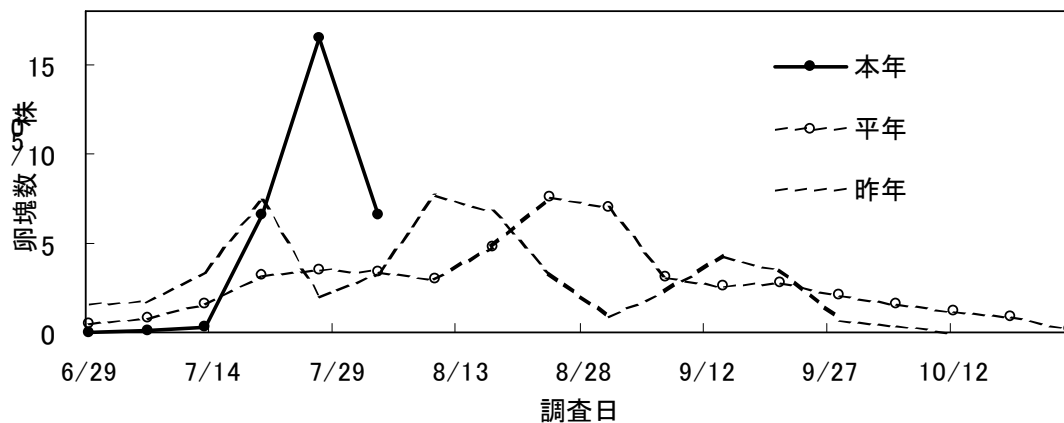


図2: 各地区のフェロモントラップにおけるハスモンヨトウ雄成虫の誘殺数(7月6半旬まで)

